

第507回 放送番組審議会

1. 日 時 2015年4月21日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 12名

出席委員 10名

委員 長	池田 克典
副委員 長	吉江 信博
委員	鈴木 正之
委員	千葉 隆史
委員	嶋 誠治
委員	五日市知香
委員	小川口 寛
委員	三浦 茂樹
委員	恒川 かおり
委員	山口 博弥

欠席委員 2名

委員	平 英一
委員	國分 正人

社側出席者

檜崎 憲二	(代表取締役社長)
山口 英二	(常務取締役)
青山 尚之	(取締役報道制作局長)
菅野 智	(営業局長)
関 英祐	(報道制作局専任局長)
淵澤 行則	(報道制作局顧問)

事務局

遠藤 隆	(編成局長)
丸谷 尚史	(編成局編成部副部長)
小野 絢子	(編成局編成部)

4. 議 題

1. 「4Kカメラが捉えた！奥州・黒石寺「蘇民祭」～暗闇に裸男が渦を巻く！」
3月29日（日）13:30-14:25 放送
2. 番組種別の公表について
3. その他

5. 資 料（資料として以下のものを配布）

- ・ 視聴者からのご意見
- ・ テレビ岩手番組表（4月～6月）

6. 意 見

委員側意見

- 5台のカメラで色々な角度から撮られていて、争奪戦の直前はスローモーションを使ったり、ボクシングの控え室のように準備の様子を見せて盛り上げる演出がされていて、見ていて興奮した。
- 1200年続いているような祭りの記録としても、意味があると思う。民放局が苦勞しながら、長い時間をかけて記録を残したことに意味がある。
- 男っぽい祭りの寺の住職が女性ということに驚いた。支えている女性にもっと視線を合わせても良かった。
- 一番良かったと思うのは、冒頭の音楽。すごく重厚な音楽。スローな映像や掛け声と音楽が合わさり、最後まで見なきゃという風に思った。
- 小島よしおの起用はフィフティフィフティ。あれだけ鍛えている人なのに、途中から見ているだけになっていて、体力や体格だけでは取り主になれない、袋を取るには、体を鍛えるだけではだめということを表わしていた。
- 小島よしおの起用には賛成。堅苦しく重くなりそうな部分も、そうなり過ぎずに見せていた。

局側

- 小島よしおさんの起用は、全国の公募で通すためにはテレビ的な演出、幅広い視聴者の獲得を狙って起用した。女性の視点は次のテーマか。今回は男性にフォーカスした。苦勞話は、神事である祭りを妨げないように取材することが難しかった。暗いと思っても照明は当てられない。距離感が必要だった。

4月番組審議会（今回）のテレビ放送予定

◆ 4月28日（火）11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」